

計画小委員会 活動報告

計画小委員会
小委員長 大沢 昌玄

1. 小委員会の目的

大都市においては、限られた空間の中で高度で効率的な都市活動を営むために、地下空間の計画的な活用が必要である。現在、既存地下空間の老朽化、多発する地震や水害等の自然災害、火災に対する防災や減災等、地下空間に対する要求事項が多岐にわたっており、それらニーズについても十分な整理が必要な状況にある。

本小委員会では、今後のまちづくりにおける地下空間の果たす役割について、事例調査を行うことにより、地下空間ネットワーク形成、リノベーションや防災・減災といった観点と、過去に議論された地下空間の有効利用や地下空間のあり方をもとに、より良い都市の地下空間整備を行うための方策を検討することを目的とする。

2. 研究内容

2.1 テーマ

- (1) 都市のリノベーションにおける地下空間の果たす役割
- (2) 地下空間計画策定に関する技術者及び技術力の持続的担保のあり方

2.2 基本方針

■研究テーマ（1）

『都市のリノベーションにおける地下空間の果たす役割』

- ・前期の研究「都市のリノベーションにおける地下空間の果たす役割」で得られた知見と課題に対応して、地下利用の計画技術、整備や安全に関する法制度、官民連携を促す仕組みなどを深堀し、必要なものから提言していく。

【得られた知見からの研究テーマ】

- ① 都市活性化要因・避難場所としての価値創造とその課題および対応
 - ② 地下空間の位置づけと法制度体系の再確認
 - ③ 地下利用ガイドプランの再考
 - ④ 今後新たに構築及び再構築する地下空間整備のあり方
 - ⑤ 社会経済状況変化に伴う地下空間の閉じ方
- ・特に、地下空間整備における官民連携や地下空間整備プロセスを踏まえた地下空間利用変容プロセスについて検討を行う。
 - ・日本の都市における事例のほか、オンライン会議を通じて海外の事例についても情報収集を行う。

■研究テーマ（２）

『地下空間計画策定に関する技術者及び技術力の持続的担保のあり方』

- ・地下空間計画策定に関する技術者の将来にわたる持続的確保及び地下空間に対する持続的な技術力の担保のため、地下空間計画策定に関する研修会及び見学会を開催する。
- ・地下空間という複雑かつ学際的な領域であることから、誰もが手にすることができる解説書が必要である。
- ・また、「新たに地下空間をつくる」だけでなく、現在は、「既存の地下空間をリニューアルする」という状況も発生している。さらに、「地下空間を廃止する」ことも考えられており、そのような課題に対応した新たな解説書が求められる。
- ・このような解説書の作成について取り組むことが必要であり、その解説書の発行に向けた企画調整を行っていく。

2.3 研究スケジュール（3 か年）

活動内容／年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
研究テーマ（１）			
1) 情報・資料の収集整理	←		→
2) 事例の調査・研究	←		→
3) 課題の抽出, 具体的分析		←	→
4) まとめ			←→
研究テーマ（２）			
1) 研修会・見学会の実施	● ●	● ●	● ●
2) 研修会・見学会の企画立案	←		→
3) 計画技術継承の調査・研究		←	→
4) 計画技術継承の出版検討		←	→
5) まとめ			←→

3. 活動経過（2020年1月～）

2020年度はコロナの影響のため、小委員会はオンライン会議にて実施した。また、9月に、大阪地下街 ホワイトティうめだのリニューアル工事後の状況について、オンライン形式の講演会を開催した。

（１）小委員会

5月 18日	第8期 第8回委員会；
6月 15日	第8期 第9回委員会；
9月 18日	第9期 第1回委員会；大阪地下街 講演

(2) 見学会・講演会

9月 18日	大坂地下街講演「ホワイトィうめだ2期リニューアル工事について
--------	--------------------------------

4. 委員名簿

役職	氏名	所属
委員長	大沢 昌玄	日本大学
副委員長	松井 直人	日本測地設計（株）
委員	阿部 貴弘	日本大学
委員	伊藤 均	八千代エンジニアリング(株)
委員	粕谷 太郎	地下空間利・活用研究所
委員	加藤 昌樹	森ビル（株）
委員	岸井 隆幸	（一財）計量計画研究所
委員	木村 優介	京都大学
委員	工藤 康博	
委員	久保 景介	鉄建建設（株）
委員	土井 祥子	東京大学
委員	西田 幸夫	埼玉大学
委員	廣瀬 隆正	三菱地所（株）
委員	堀 正和	（株）三菱地所設計
委員	前田 智宏	鉄建建設（株）
委員	松谷 春敏	（株）I H I
委員	横塚 雅実	都市地下空間活用研究会
幹事	関 繭果	（株）竹中土木
幹事	大門 創	福山市立大学